

# 2号機燃料取り出しに向けた工事の進捗について

2025年1月30日

**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社

# 1. 燃料取り出し計画及び進捗について

- 2024～2026年度の燃料取り出し開始に向け、建屋内と建屋外で作業実施中。
- 燃料取り出し用構台設置後、原子炉建屋オペレーティングフロア（以下、オペフロ）南側に開口を設け、燃料取扱設備を設置する計画。

## 【構内】

- 2024年10月24日からランウェイガード設置作業を開始。
- 2024年12月13日に開口設置が完了。

## 【構外】

- 2024年10月23日からランウェイガード設置のため、構内への搬入作業を実施中。

## 【工場】

- ランウェイガード設置完了後の輸送に向け、燃料取扱設備各機器の試運転を実施中。



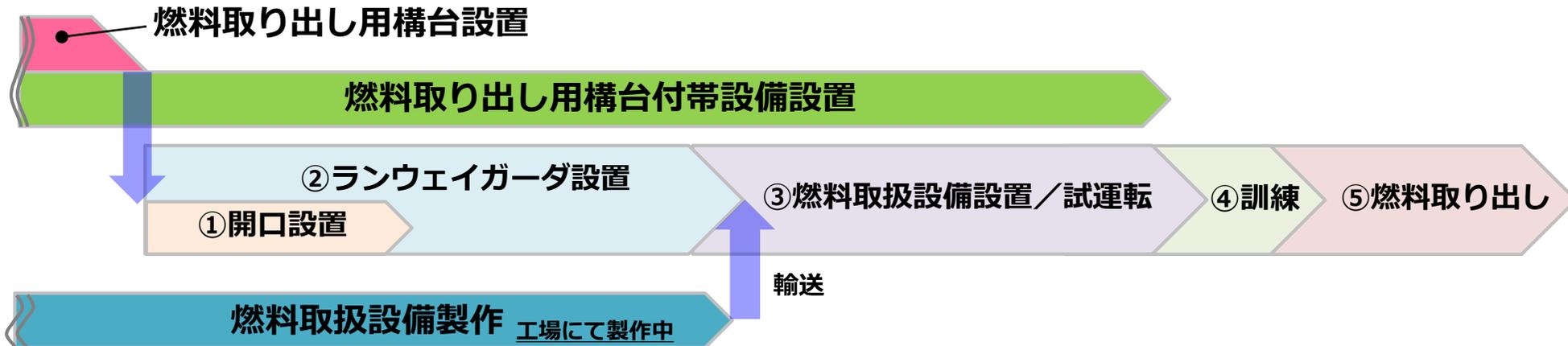
## 2. 燃料取り出し開始迄のステップ

2024年度

2025年度

2026年度

▼現在



ステップ①開口設置



ステップ②ランウェイガード設置



ステップ③燃料取扱設備設置



### 3. 開口作業の進捗状況

- 12月9日にランウェイガード用開口の設置作業を完了。
- 12月13日に人員用及びその他設備用(ITV設備・照明設備・非常用注水設備)開口の設置作業を完了。



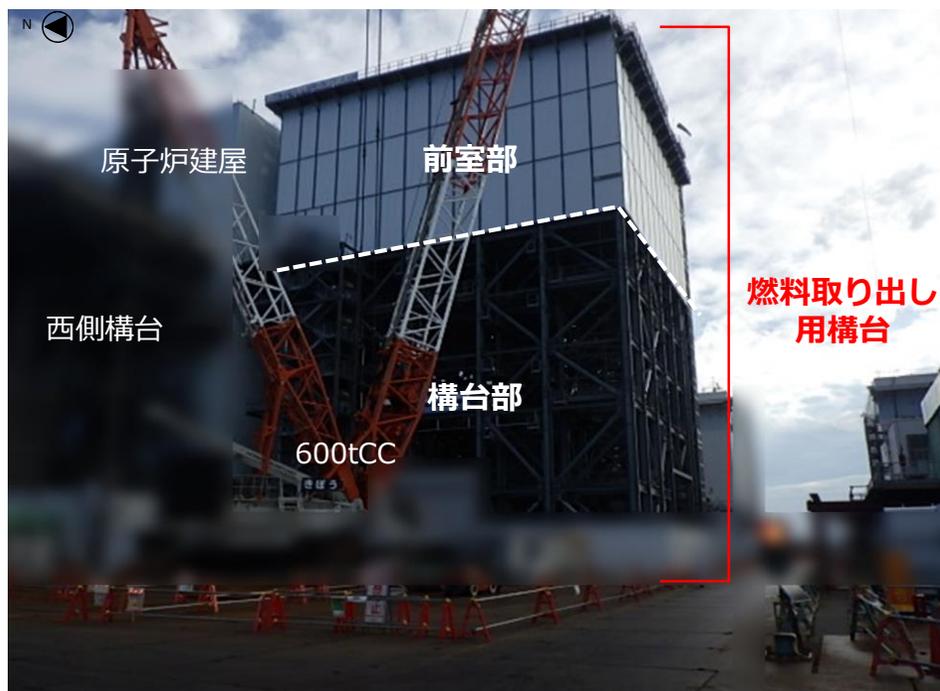
写真①：ランウェイガード用開口設置状況  
(撮影日：2024.12.6)  
R/Bオペフロ側より撮影



写真②：人員用及びその他設備用開口設置状況  
(撮影日：2024.12.13)  
南側構台側より撮影

## 4. ランウェイガーダ設置作業の状況

- ランウェイガーダ鉄骨の設置作業を10月24日から開始。（6/8ブロック前室内搬入完了）
- 現在，前室内でランウェイガーダ鉄骨の建方作業を実施中。



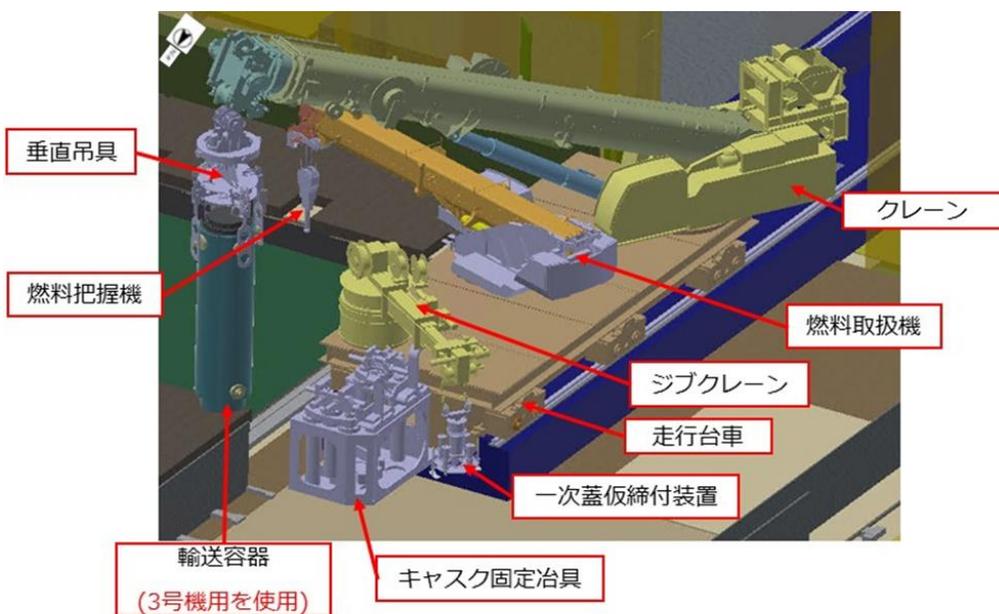
現場全景[南西側] (撮影2024.10.25)



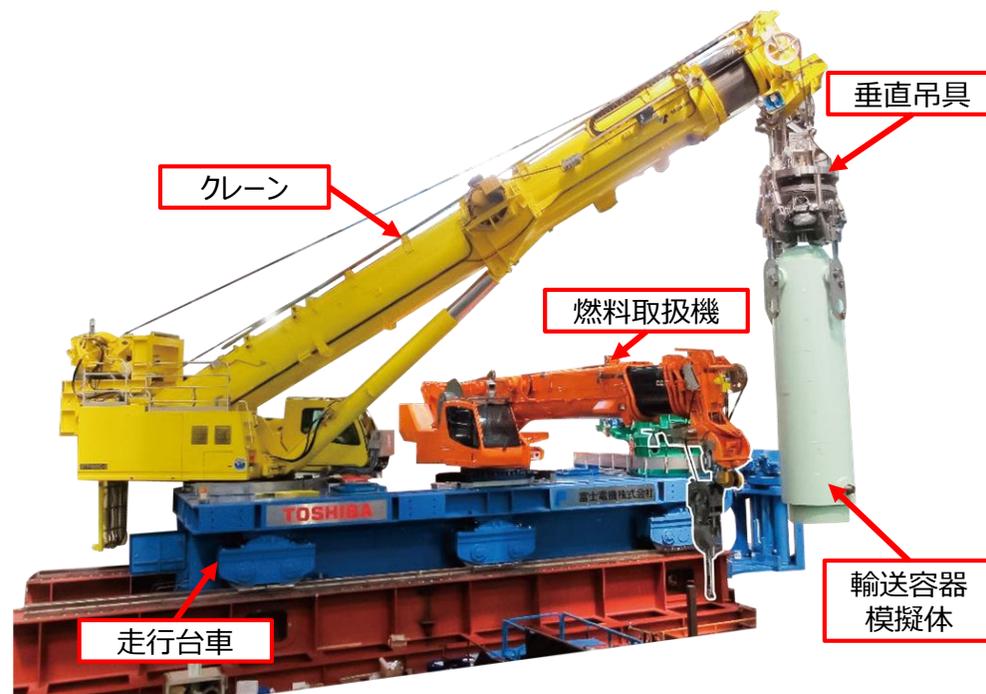
ランウェイガーダ鉄骨の設置状況  
(撮影2024.12.13)

## 5. 燃料取扱設備の製作状況

- 燃料取扱設備の各機器試運転を継続実施中。
- 試運転完了後、設備の養生を行った上で海上輸送する計画。



燃料取扱設備の概要図



燃料取扱設備の試運転状況  
(クレーン運転状態を確認中)

## 6. 今後のスケジュール

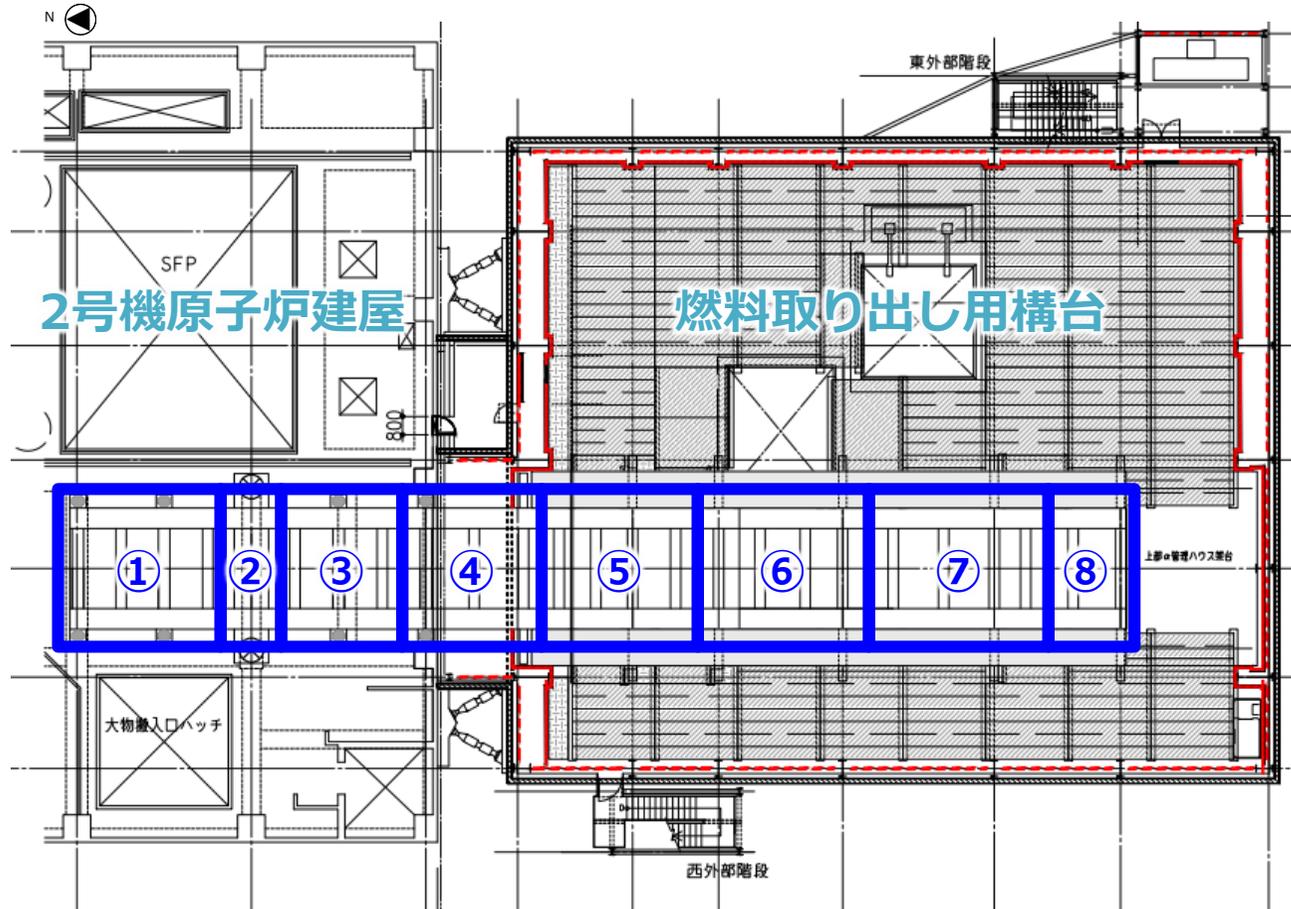
- 2024~2026年度の燃料取り出し開始に向け、現時点で計画通りに進捗。
- 安全最優先に作業を進めてまいります。

	2024年度								2025年度							2026年度以降
	1Q	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	2Q	3Q	
オペフロ内 線量低減	遮蔽 (その2)							現在								
【構内】 構台設置工事	鉄骨工事									ランウェイガード設置						
【構内】 構台付帯設備設置工事					開口工事準備	開口工事										
【構外】 構台設置工事	燃料取り出し用構台鉄骨地組									ランウェイガード鉄骨地組						
【構外】 構台付帯設備設置工事																
燃料取扱設備製作																
【構内】 燃料取扱設備設置工事																
燃料取り出し																
許認可																

※工程の進捗により変更する可能性有

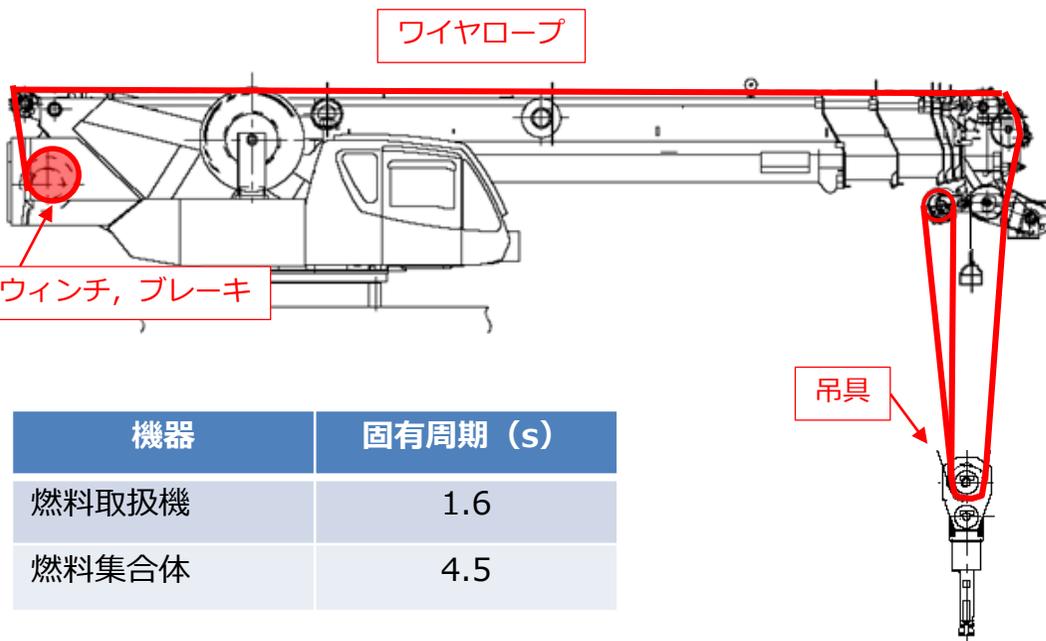
※線表については、準備・片付け作業期間含む

- 2号機燃料取り出し用構台のランウェイガード鉄骨ブロックは全**8ブロック**で構成。



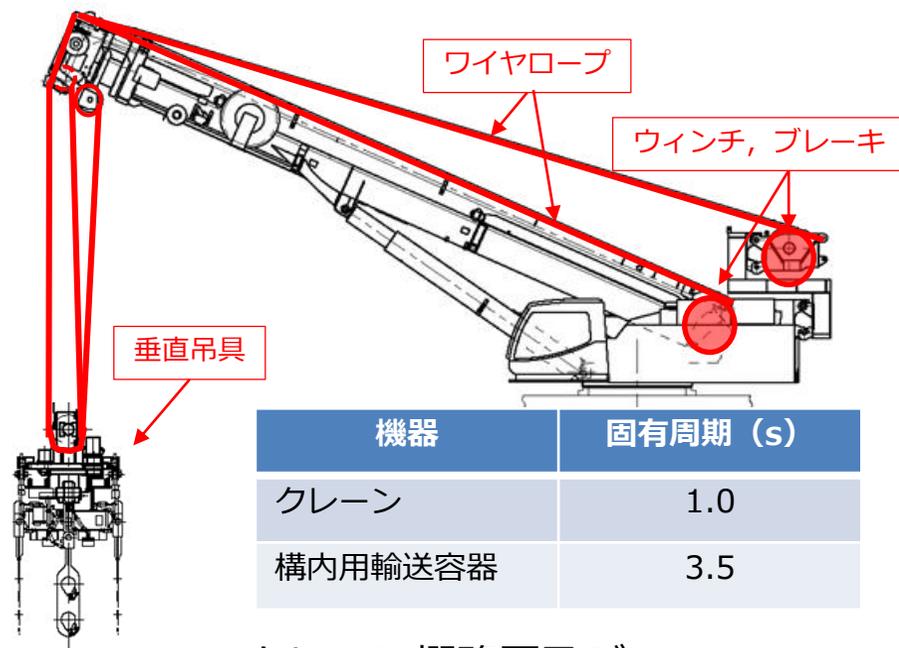
ランウェイガード鉄骨ブロック割り図

- 各機器から吊荷迄の地震力の伝達経路は以下の通り。
  - ✓ 走行台車⇒燃料取扱機（又はクレーン）⇒ワイヤロープ⇒燃料集合体（又は構内用輸送容器）
    - ① ワイヤロープを介することで、機器－吊荷間で十分地震動が減衰するため、吊荷の振れによる挙動は小さい。
    - ② 燃料取扱機およびクレーンのブームの固有周期は短く、吊荷の固有周期は長いため、共振による影響はない。
- 上記①～②より、衝突による吊荷および機器の破損リスクは十分小さい。



機器	固有周期 (s)
燃料取扱機	1.6
燃料集合体	4.5

燃料取扱機概略図及び固有周期



機器	固有周期 (s)
クレーン	1.0
構内用輸送容器	3.5

クレーン概略図及び固有周期